

「八女福島の燈籠人形」（国指定重要無形民俗文化財）

- 1 開催日：平成29年9月22日（金）～24日（日）
- 2 公演時間：13時30分・15時・16時30分・19時・20時30分
（※1回の公演時間 約30分）
- 3 芸 題：「玉藻之前（たまものまえ）」
平安時代、朝廷に仕えていた美女・玉藻之前が、管弦の宴で狐の化身であることを見破られて下野国・那須野原に逃れ、殺生石となって人々を苦しめたが、玄翁和尚の法力で成仏するという物語。
- 4 開催場所：八女市本町 福島八幡宮境内
- 5 観 覧 料：無料
- 6 交通アクセス：八女ICから車で約10分
- 7 連絡先：八女市文化振興課 文化振興係
☎0943-24-8163
- 8 概 要

「八女福島の燈籠人形」は、福島八幡宮「放生会」の奉納行事として、秋分の日を含む3日間上演されるからくり人形芝居です。

当初、山鹿市・大宮神社から燈籠を譲り受け、江戸時代半ばに福島町民が独自の工夫をこらし人形の燈籠を奉納したことが始まりといわれます。当時、大阪方面で隆盛を誇った人形浄瑠璃の技術を採用入れ、現在の形態になったといわれています。

上演の舞台となる屋台は、3層2階建てで釘や鋸を1本も使用しない組立式で、お囃子に合わせて華麗なからくり人形芝居が舞い踊ります。とりわけ人形の橋渡しや衣裳の早変わりなどが見どころです。

